

企画展「日本の科学館は大阪から」開催中！

大阪市立科学館は、展示場の全面改装のため約8か月間の長期休館を経て、8月1日にリニューアルオープンしました！企画展会場も展示場4階から、このたび1階「みんなのサイエンス・ラボ」に移りました。現在、リニューアルオープン企画展「日本の科学館は大阪から」を開催しています。

当館の前身である大阪市立電気科学館（通称：電館）は、1937年3月13日に開館した日本最初の科学館です。東洋初のプラネタリウムが導入され、体験展示やプラネタリウムを通して科学を分かりやすく学ぶという日本初のコンセプトが取り入れられました。当館においても、“科学を分かりやすく、楽しく学ぶ”というコンセプトにパワーアップして受け継いでおり、もちろん今回のリニューアルにも取り入れています。

本企画展では、電館の開館から52年にわたる活動の変遷と、当館の35年間の軌跡を所蔵資料とともに紹介しています。また、今回リニューアルした展示の中でも、電館から受け継ぎ、バージョンアップを重ねてきたものもあります。そうした変遷とともに、リニューアルした展示場のより深い楽しみ方も合わせて紹介しています。本企画展は11月24日（日）まで開催しておりますので、ぜひお越しください。なお、うちゅう来月号にて、本企画展についてより詳しく紹介しますので、お楽しみに。



写真1. 企画展チラシ



大阪市立電気科学館
外観(1986年頃撮影)



大阪市立科学館 外観
(1989年開館日前日に撮影)



電気科学館ポスター
(1943年頃発行)



大阪市立科学館
発行冊子のいろいろ

西野 藍子(科学館学芸員)